

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-144773

⑬ Int. Cl.⁴

B 62 D 5/04

識別記号

庁内整理番号

8609-3D

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月12日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 電動式動力操舵装置

⑯ 実 願 昭61-33065

⑰ 出 願 昭61(1986)3月7日

⑱ 考 案 者 上 田 正 通 豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑲ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社 豊田市トヨタ町1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 鶴 沼 辰 之 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 操舵ハンドルの回転運動をリンクの運動に置きかえる操向ギヤ装置と、操縦ハンドル軸に設けられ、この操縦ハンドル軸の回転トルクに応じた変位を機械的に生じさせる変位発生手段と、この変位発生手段と前記操縦ハンドル軸とにそれぞれ付設され、この変位によつて開閉するスイッチと、このスイッチの開動作によつて前記操縦ハンドル軸の前記変位を除去するべく回転駆動する電動モータとを具備してなることを特徴とする電動式動力操舵装置。
- (2) 実用新案登録請求の範囲第1項において、変

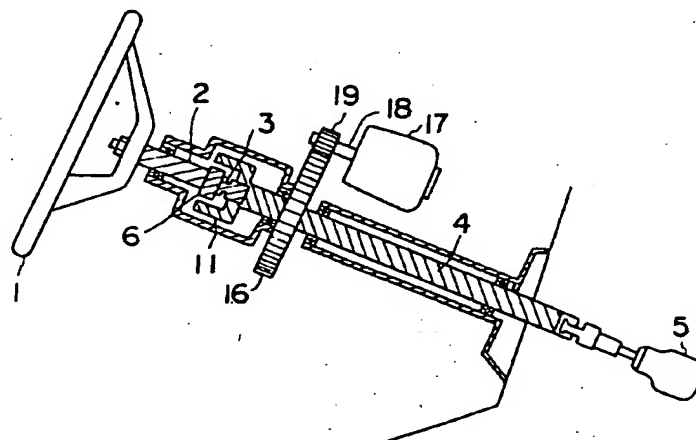
位発生手段は操向ギヤ装置のギヤ機構と操縦ハンドル軸との間に設けられ、スイッチは電動モータを正逆転するために2組設けられたことを特徴とする電動式動力操舵装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る電動式動力操舵装置の一実施例を示す縦断面図、第2図は第1図の回路図である。

1…ステアリングホイール、2, 4…操縦ハンドル軸、3…トーションバー(変位発生手段)、5…操向ギヤ装置、6, 11…スイッチ部、17…電動モータ。

第1図



第 2 図

